

普及技術

分類名〔草地飼料〕

普 12	飼料用トウモロコシ奨励品種(極早生) 「ゴールドデント KD460」 (子実向け)
------	--

宮城県畜産試験場

## 要約

飼料用トウモロコシ品種「ゴールドデント KD460」は、極早生品種の中で、優良な収量性を示した。

普及対象：飼料用トウモロコシを作付けする土地利用型経営体（1,200ha）  
普及想定地域：県内全域

## 1 取り上げた理由

市販されている流通品種の特性を把握することを目的とした県内適応品種選定試験を行った結果、安定した成績を示す品種「ゴールドデント KD460」の有用性が確認されたので、普及技術とする。

## 2 普及技術

(1) 「ゴールドデント KD460」の主要な特性を表1に示す。

標準品種の「ネオデントエスパス 95」と比較して、収量性・耐病性等が同等である。

表1 主要な品種特性

品種名/商品名	早晩性	メーカーRM	乾物収量	耐倒伏性	耐病性	赤カビ耐性
ゴールドデント KD460	極早生	95	○	○	○	○

凡例 ◎優れる、○:並（標準品種と比較しての相対評価）

※畜産試験場において5月上旬に播種し、発芽から収穫期までの調査結果(R04～R06)による。

## 3 利活用の留意点

(1) 栽培管理については、「牧草・飼料作物（県奨励品種）栽培の手引き」を基本とすること。

(2) 栽植本数は、8,000～9,000本/10a程度とし、1本仕立てにすること。

（問い合わせ先：宮城県畜産試験場草地飼料部 電話 0229-72-3101）

#### 4 背景となった主要な試験研究の概要

(1) 試験研究課題名及び研究期間

飼料作物・牧草適応品種の選定 (令和4～令和6年度)

(2) 参考データ

表2. 初期生育および熟期

品種名/商品名	発芽日	発芽 良否 <sup>1)</sup>	初期 生育 <sup>1)</sup>	雄穂 抽出期	雄穂 開花期	絹糸 抽出期	黄熟期
ゴールドデントKD460	5/9	5/17	8.9	6.3	7/12	7/12	8/15
ネオデントエスパス95	5/9	5/16	8.9	6.8	7/9	7/11	8/14

1): 極不良1～極良9

表3. 生育特性

品種名/商品名	稈長 (cm)	着雌穂高 (cm)	稈径 (mm)	倒伏(%)			折損 (%)
				30度	60度	合計	
ゴールドデントKD460	233	116	22.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ネオデントエスパス95	226	90	21.3	0.0	0.0	0.0	0.1

表4. 病害虫程度

品種名/商品名	ごま葉 枯病 <sup>1)</sup>	すす 紋病 <sup>1)</sup>	根腐病 (%)	紋枯病 (%)	赤カビ 病 <sup>2)</sup>	虫害による 折損(%)	虫害による 雌穂脱落(%)	虫害による 雌穂食害 <sup>2)</sup>
ゴールドデントKD460	1.0	1.0	1.0	2.8	0.6	0.4	2.0	1.0
ネオデントエスパス95	1.3	1.2	3.3	2.4	0.5	0.2	2.5	1.3

1): 無1～甚9

2): 1[0%,0%], 2(0%,5%], 3(5%,10%], 4(10%,25%], 5(25%,40%], 6(40%,55%], 7(55%,70%], 8(70%,85%], 9(85%,100%]

表5. 収量性

品種名/商品名	有効雌 穂割合 (%)	生重(kg/10a)			乾物率(%)			乾物重(kg/10a)			子実乾 物重 (kg/10a)	子実 含水率 (%)
		茎葉	雌穂	総体	茎葉	雌穂	総体	茎葉	雌穂	総体		
ゴールドデント KD460	100.8	2811	1420	4231	27.9	73.2	43.1	776	1038	1814	928	22.9
ネオデントエスパス 95	100.8	2802	1448	4250	28.5	71.5	43.2	791	1035	1826	912	24.3

(3) 発表論文等

なし

(4) 共同研究機関

なし